

伊藤至郎 いとう 科學評論家。明治二十一年十一月二十日千葉縣生れ。昭和二十二年十月十七日歿（八九—九五）。大正十四年東京物理學校數學科卒。唯物論研究會に參加。戰後氏主千葉科學者協會、新日本文學會、新日本歌入協會所屬。

著書『ロイデオロギー論』（合著・理想社編、昭和六年七月十日理想社出版部）、『日本科學史』（昭和十八年七月十日、二百伊藤書店）、『鷗外論稿』（昭和十八年十月、二十五日光書房。再刊・二十五年二月十日學藝社）、『通路—或る數學者のノート』（昭和二十二年六月十五日、月曜書房）、『青少年の科學の歴史』（昭和二十二年九月十五日新興出版社）、『青少年の科學の發展』（昭和二十二年十月十五日新興出版社）、『科學への歩み—科學入門』（昭和二十七年二月十五日角川書店「角川新書」）、『鈴木雅之小伝』（昭和四十七年十月十日千葉・千葉直郷土資料刊行会「房総人物シリーズ」）等。

